

ORICON

2016年3月期 第1四半期決算 補足資料

2015年8月7日

オリコン株式会社（証券コード：4800）

- コミュニケーション事業が増収（前期比+42.0%）全社を牽引。モバイル事業（前期比▲15.9%）、雑誌事業（前期比▲18.7%）ともに減収。
- コストの抑制の効果あり、純利益は前期比+65.4%の増加。
- 当第1四半期は 減収・増益 となりました。

売上高：	1,070 百万円	前期比	1.2% 減
営業利益：	100 百万円	前期比	21.1% 増
経常利益：	88 百万円	前期比	22.7% 増
純利益：	45 百万円	前期比	65.4% 増

1-2 連結損益計算書

(単位：百万円)	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	前年同期比	
			(額)	(率)
売上高	1,083	1,070	▲12	▲1.2%
売上原価 (原価率)	557 (51.5%)	540 (50.5%)	▲17	▲3.1%
差引売上総利益 (売上総利益率)	525 (48.5%)	529 (49.5%)	+4	+0.9%
販管費 (販管費率)	442 (40.8%)	429 (40.1%)	▲13	▲3.0%
営業利益 (営業利益率)	83 (7.7%)	100 (9.4%)	+17	+21.1%
経常利益 (経常利益率)	71 (6.6%)	88 (8.2%)	+16	+22.7%
税引前純利益 (税引前利益率)	71 (6.6%)	88 (8.2%)	+16	+22.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (純利益率)	27 (2.5%)	45 (4.3%)	+18	+65.4%

【売上高】

● 主な減収要因

- ・モバイル事業 ▲65百万円 (▲15.9%)
- ・雑誌事業 ▲38百万円 (▲18.7%)
- ・ゲーム事業 ▲16百万円 (▲55.8%)

● 主な増収要因

- ・コミュニケーション事業
+112百万円 (+42.0%)

【売上原価】【販管費】

- ・共にコストは減少、全ての利益面にプラス
- ・新規事業への投資は+5百万円

【営業利益】

● 主な増益セグメント

- ・コミュニケーション事業
+68百万円 (+74.4%)
- ・ゲーム事業 +3百万円 (+107.4%)

報告セグメント区分の一部変更について

当期より、以下の各セグメントに含まれる事業については、
現状の実態に即し、セグメント区分を変更して管理をしております。

従来セグメント	変更後	理由
コミュニケーション事業 データ・コンテンツ販売	データサービス事業へ編入	平成27年7月1日より、当事業の管掌をデータサービス事業へ集約・移管したため
モバイル事業 情報系の一部	コミュニケーション事業 バナー・タイアップ型広告へ編入	当事業の取組みが、モバイルの範囲内に留まらず「ORICON STYLE」を軸とするWEB上での展開メインとなってきたため

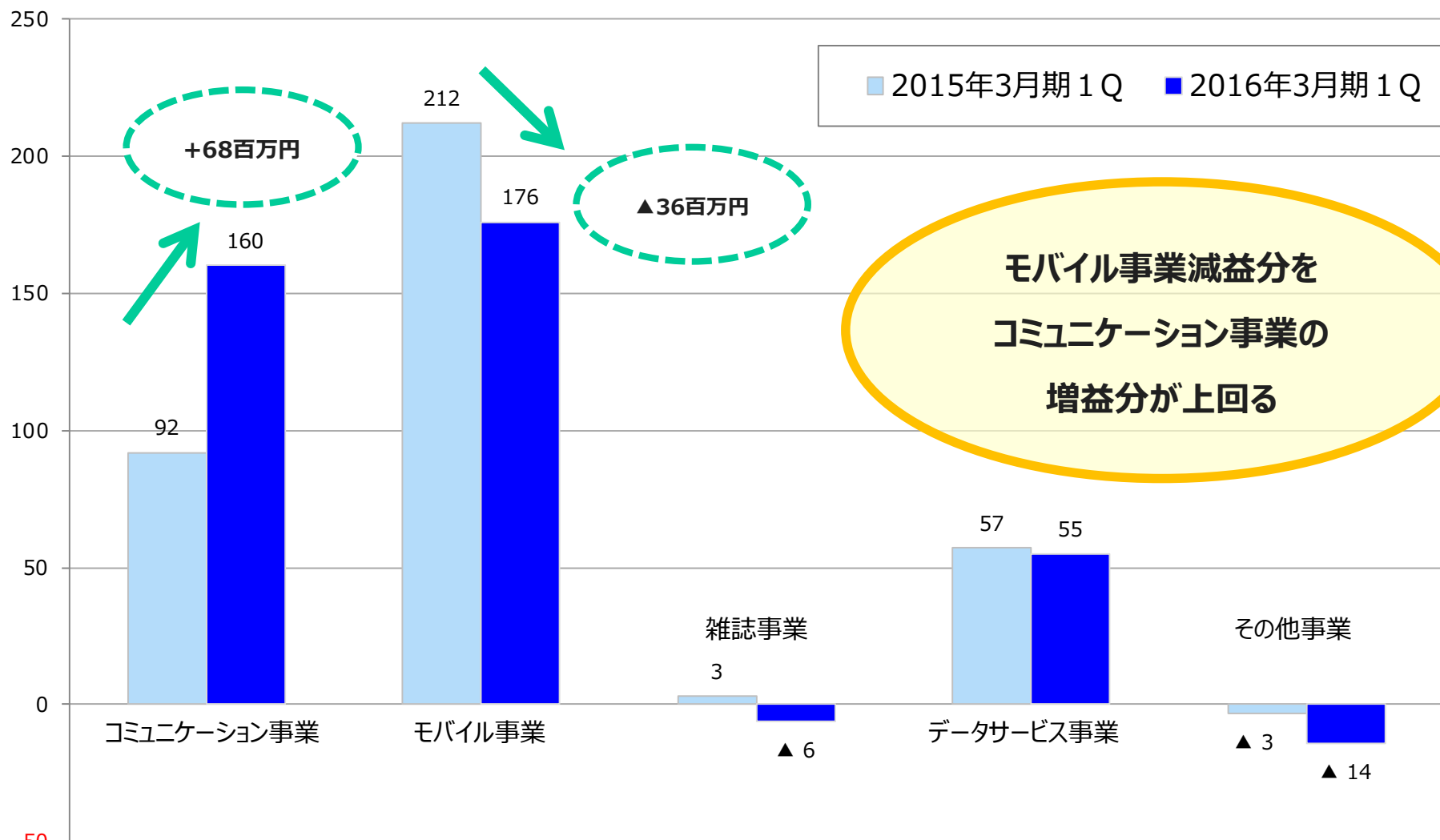
以降、掲載するセグメント別の報告数値及び比較対象とする前期または過去数値は
変更後のセグメント区分に基づいて作成しております。

モバイル事業 前期比▲15.9% コミュニケーション事業 前期比+42.0%

(単位：百万円、百万円未満を切捨て)	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	前年同期比	
			(額)	(率)
コミュニケーション事業	268	380	+112	+42.0%
顧客満足度ランキング連動型広告	132	183	+50	+38.0%
バナー型広告・タイアップ型広告等	135	197	+62	+45.8%
モバイル事業	411	346	▲65	▲15.9%
フィーチャーフォン向け（着うたフル・着うた・着メロ・情報系）	312	243	▲68	▲21.8%
スマートフォン向け音楽配信	99	102	+2	+2.6%
雑誌事業	206	168	▲38	▲18.7%
データサービス事業	151	149	▲2	▲1.7%
その他（ソーシャルゲーム事業・太陽光発電事業等）	44	26	▲18	▲41.3%
売上高合計	1,083	1,070	▲12	▲1.2%

※上述した変更後のセグメント別表記としています。

モバイル事業 前期比▲17.2% コミュニケーション事業 前期比+74.4%

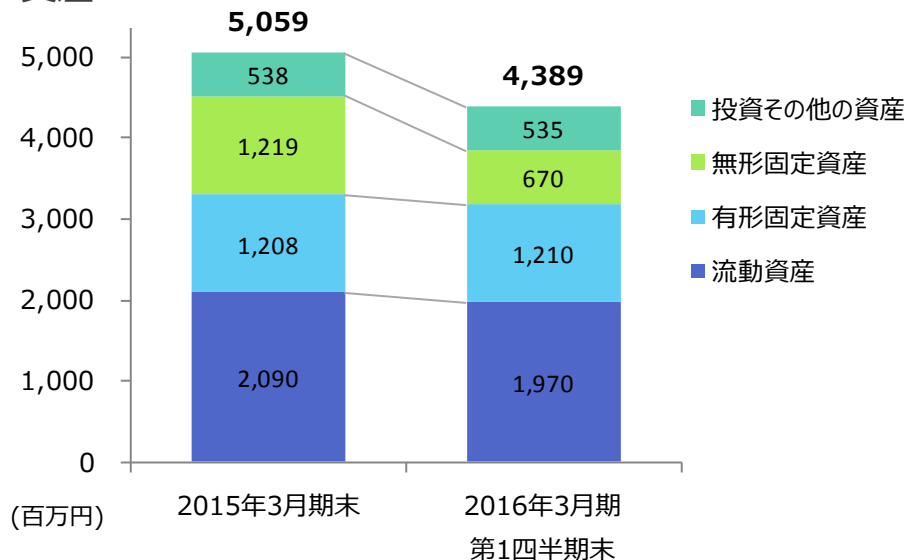


-50
(百万円)

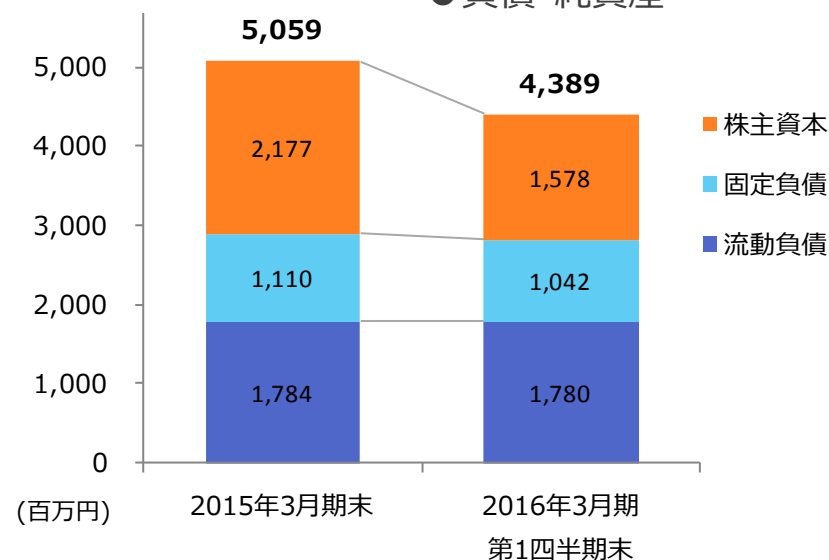
※ 上述した変更後のセグメント別表記としています。

のれん償却により資産・資本が減少

●資産



●負債・純資産



(単位：百万円)	2015年3月期末	2016年3月期第1四半期末	増減
資産合計	5,059	4,389	▲669
流動資産	2,090	1,970	▲119
有形固定資産	1,208	1,210	+2
無形固定資産	1,219	670	▲548

(単位：百万円)	2015年3月期末	2016年3月期第1四半期末	増減
負債合計	2,894	2,822	▲71
流動負債	1,784	1,780	▲4
固定負債	1,110	1,042	▲67
純資産合計	2,165	1,567	▲597

「企業結合に関する会計基準」改正を受け、のれんの遡及適用による償却を実施（▲527百万円）
これにより自己資本比率は36.0%（前期末比▲7.0ポイント）と一時的に低下

連結業績予想数値（平成27年5月8日発表）の変更はありません

(連結業績予想)

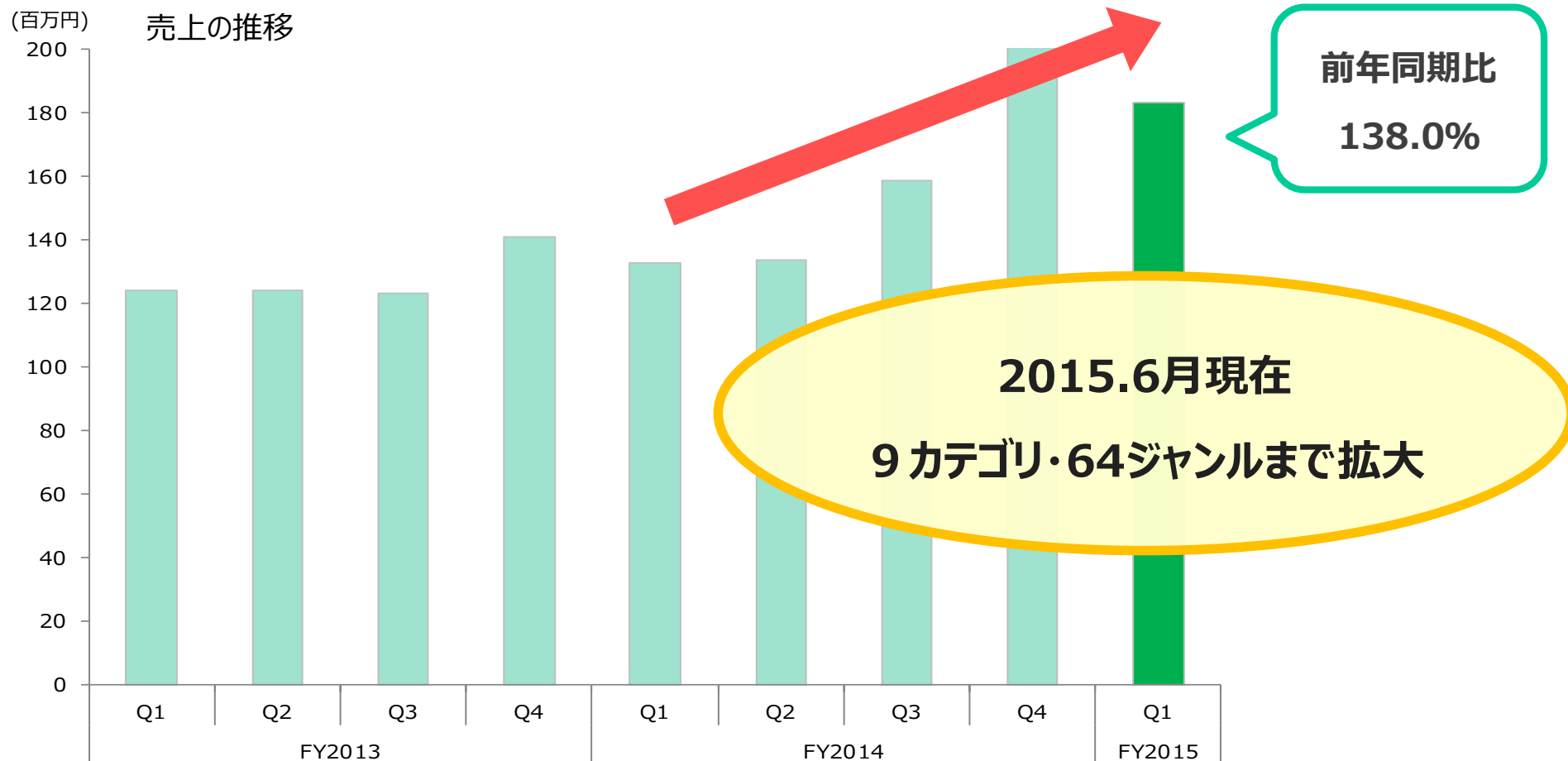
(単位：百万円)	2016年3月期 連結予想	前期比
売上高	4,600	+2.0%
営業利益	615	+24.0%
経常利益	570	+29.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	300	+30.0%

(報告セグメント別売上高予想)

(単位：百万円、百万円未満を切捨て)	2015年3月期 [実績]	2016年3月期 [予想]	前期比	
			(額)	(率)
コミュニケーション事業	1,279	1,560	+280	+21.9%
顧客満足度ランキング連動型広告	635	826	+191	+30.1%
バナー型広告・タイアップ型広告等	644	734	+89	+13.9%
モバイル事業	1,543	1,241	▲301	▲19.5%
フィーチャーフォン向け（着うたフル・着うた・着メロ・情報系）	1,142	838	▲303	▲26.6%
スマートフォン向け音楽配信	401	403	+2	+0.6%
雑誌事業	941	845	▲96	▲10.2%
データサービス事業	601	609	+8	+1.4%
その他（ソーシャルゲーム事業・太陽光発電事業等）	144	343	+196	+136.0%
売上高合計	4,510	4,600	+90	+2.0%

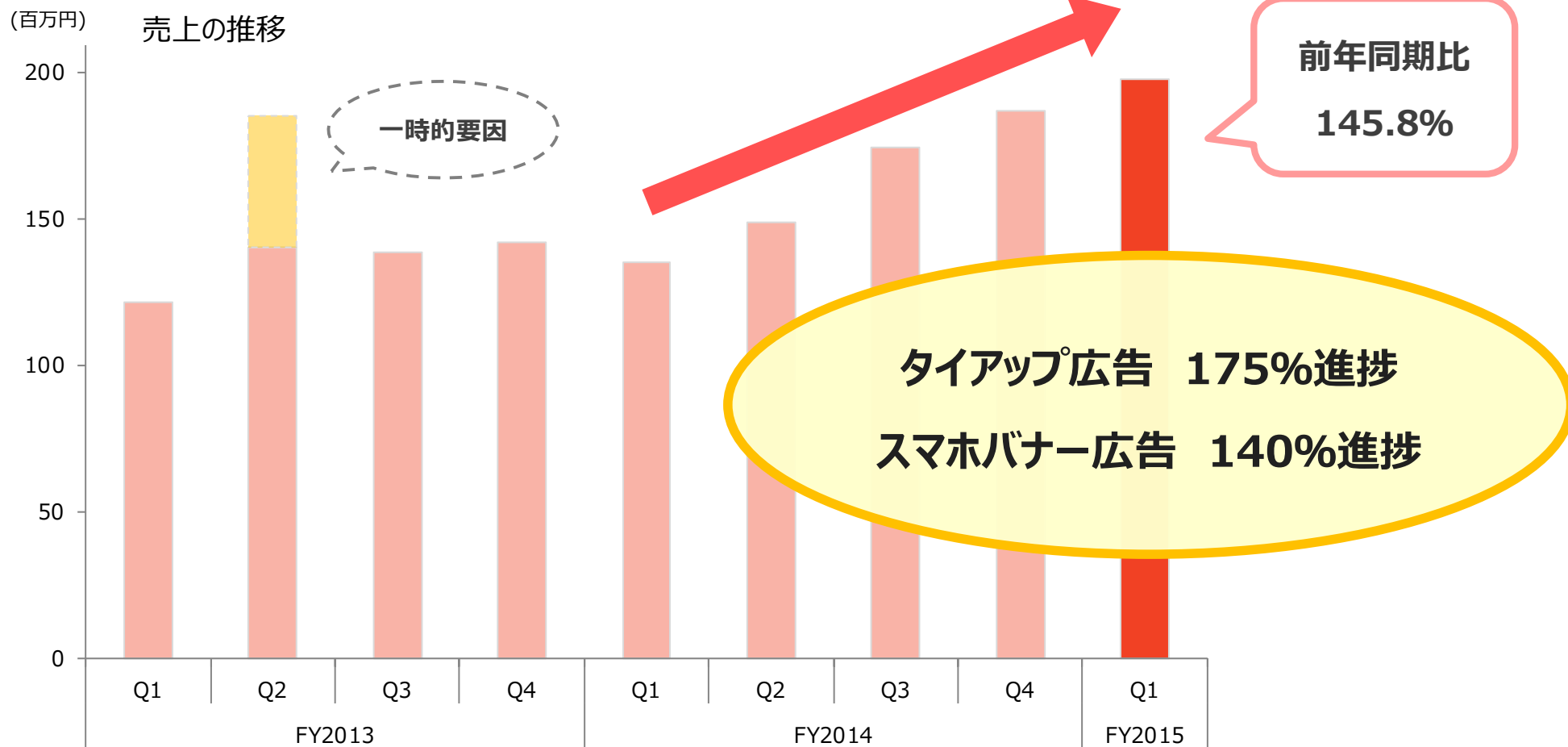
※上述した変更後のセグメント別表記としています。

◆顧客満足度(CS)ランキング連動型広告 売上が大きく伸長



さらなるジャンル拡充と共に品質・ブランド力の向上へ

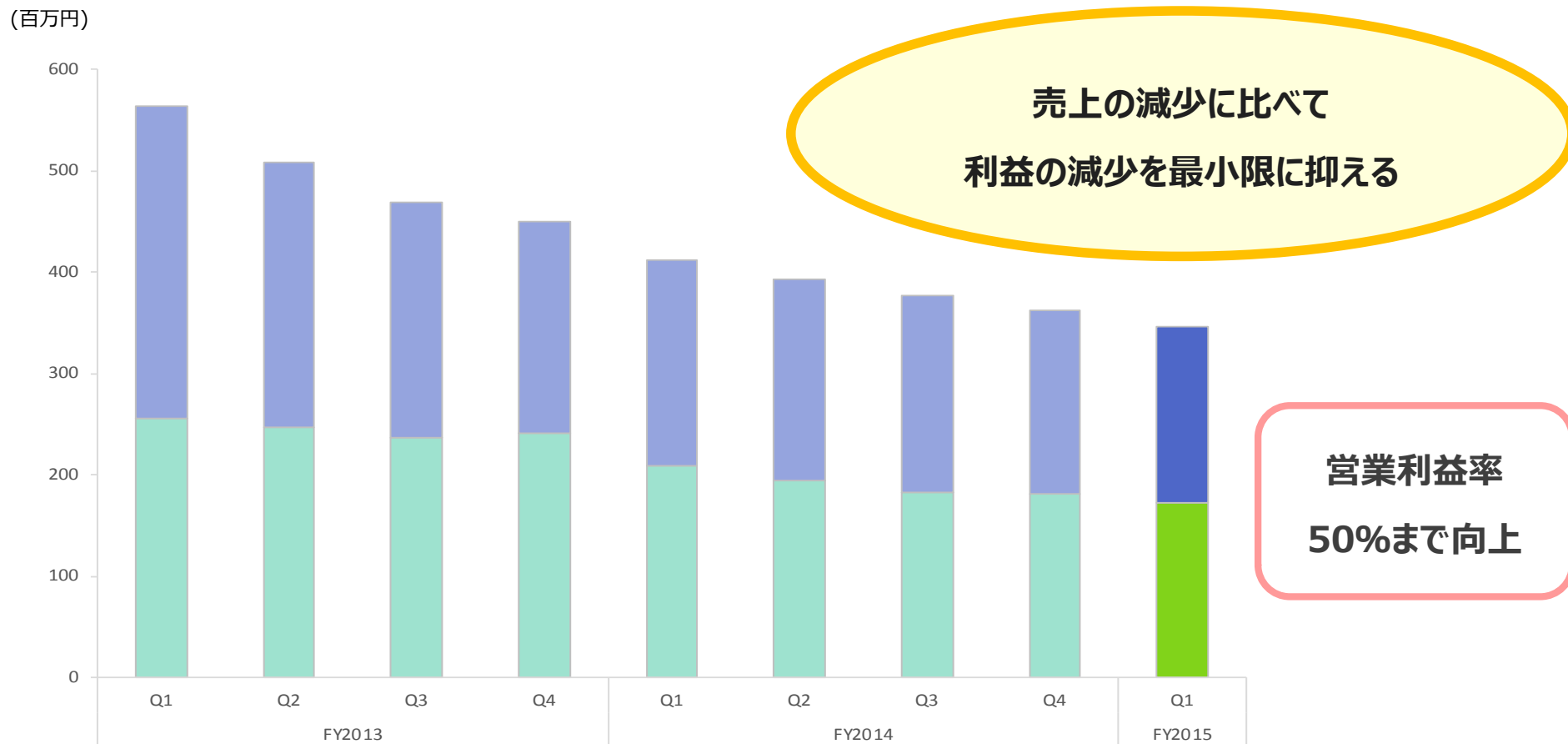
◆WEBサイトバナー・タイアップ型広告



タイアップ広告 新規受注・継続受注 ともに増加

◆モバイル事業

減収が続く中、利益率の確保・維持に主眼を置いて注力してまいりました



ハイレゾ音源配信などの新たな展開も予定

◆エネルギー事業

- マイクロ波に関する研究

東京工業大学との共同研究講座
⇒レアメタルの製造を「高速・省エネ・
CO2フリー」にて実現させるもの

2015年6月

上記研究における実証機が完成
⇒ 実用化に向けた研究フェイズへ

- 太陽光発電

- ・ 1 Q⇒13,372千円の売電収入

- ・ 栃木県矢板市にメガソーラー第2号を建設 ⇒ 2015年7月 売電開始

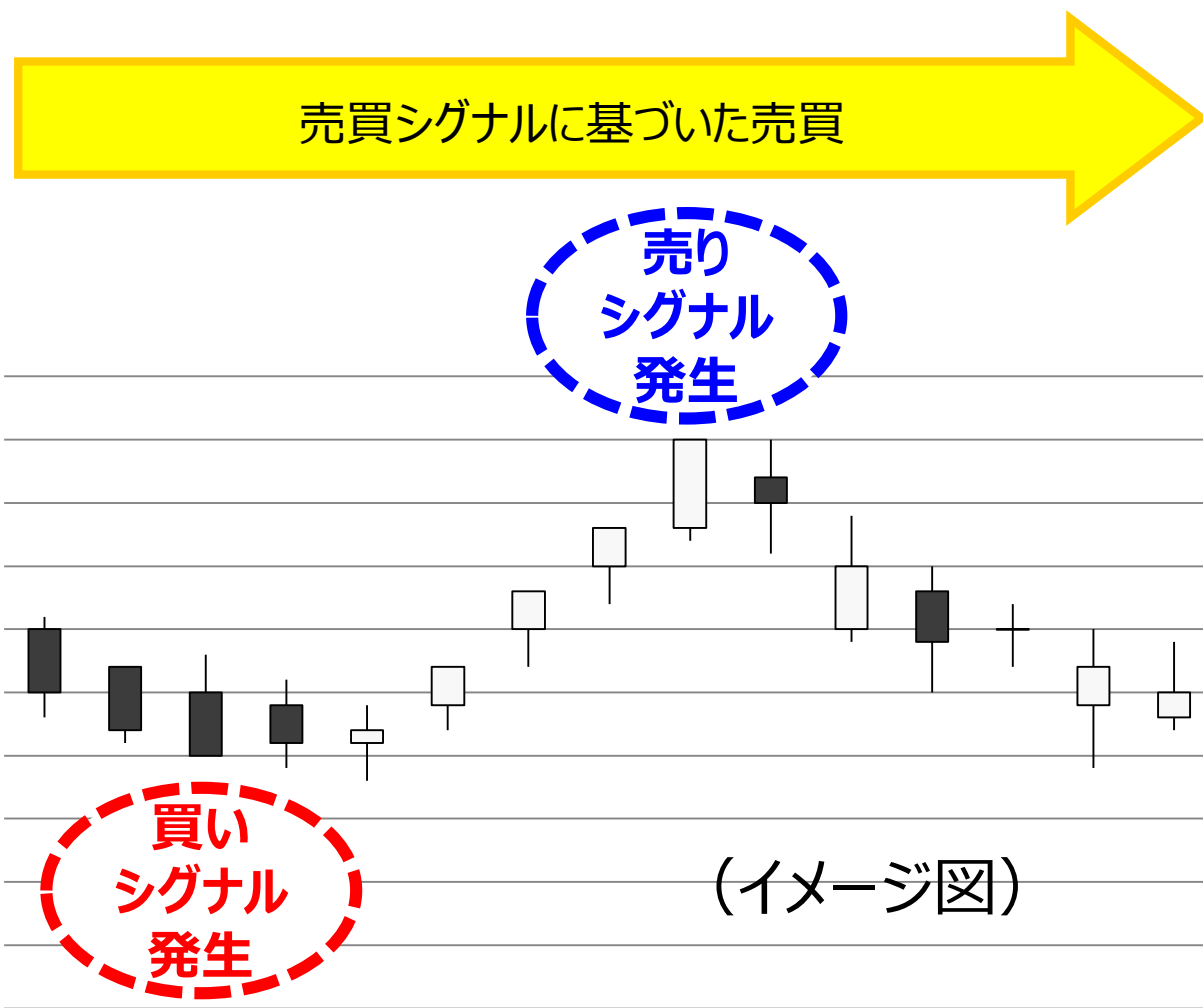
実証機の一部（2015.7.8 東工大研究室にて 当社撮影）



◆ビッグデータ関連

- 売買シグナルを元にした自社運用を6月より開始

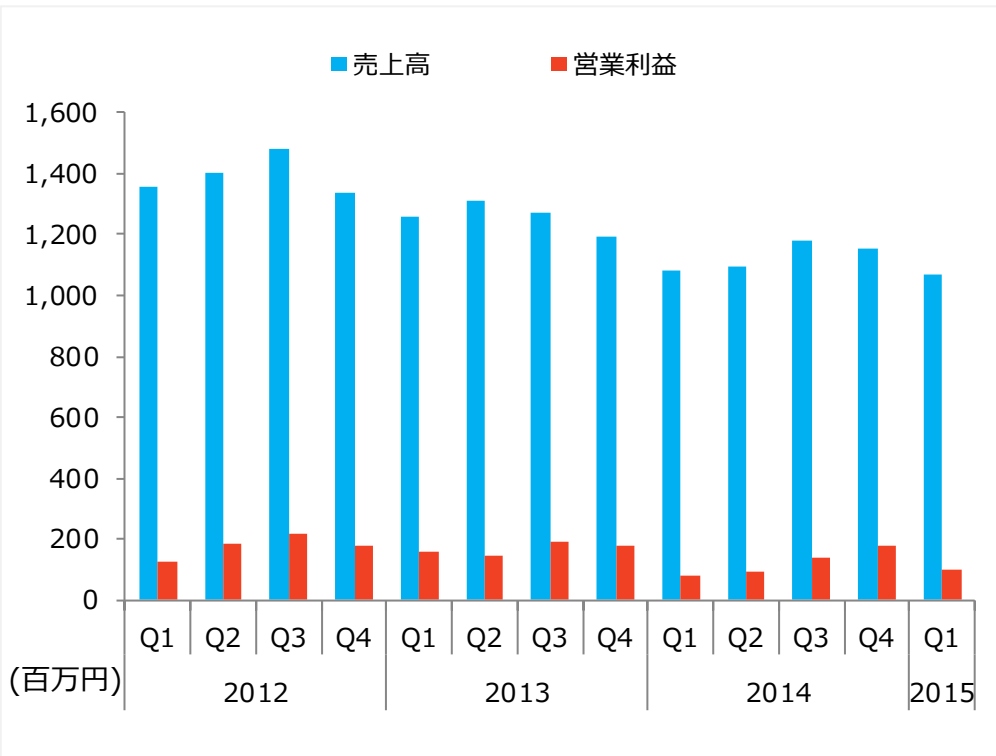
- ベンチマークとする「TOPIX配当込み」を上回るテスト結果



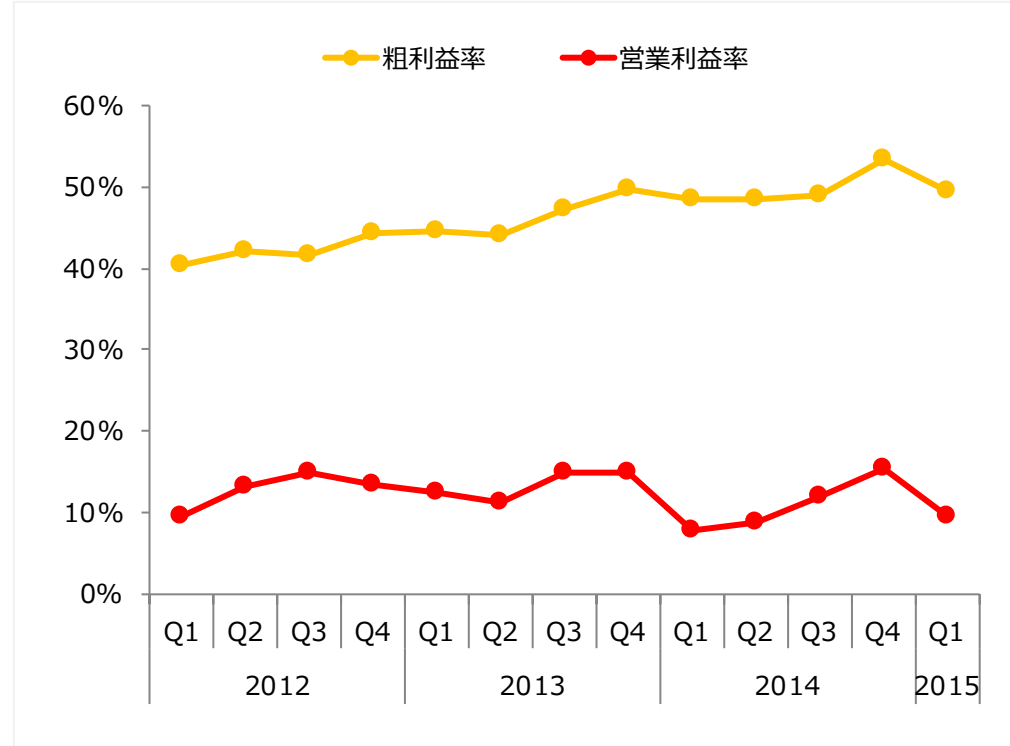
実績（トラック・レコード）の蓄積に注力

4 【ご参考】各種実績データ①

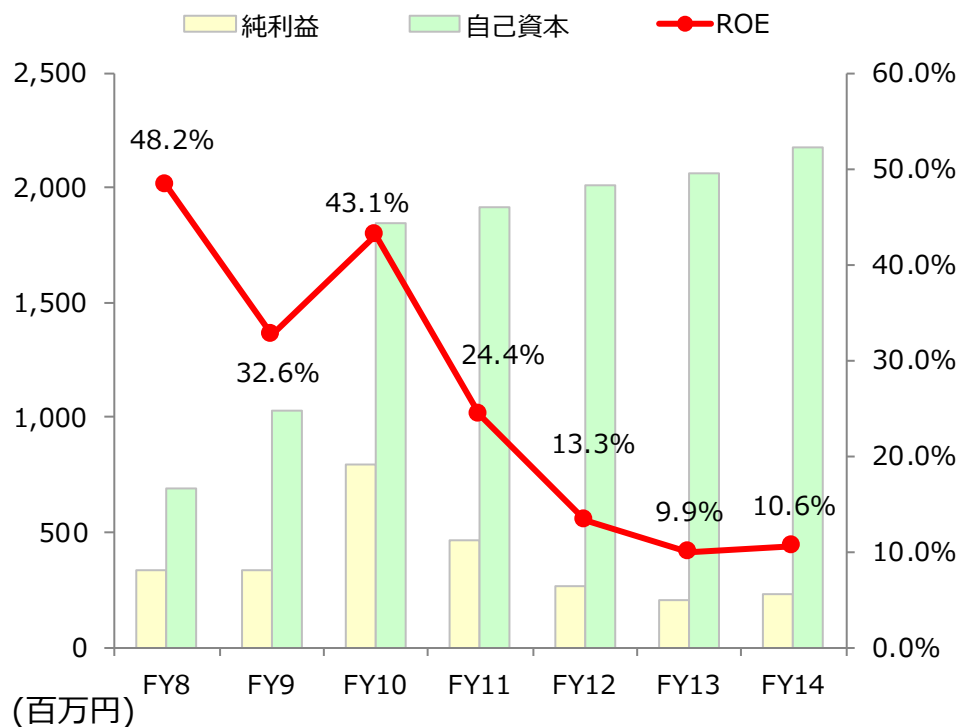
◆四半期推移



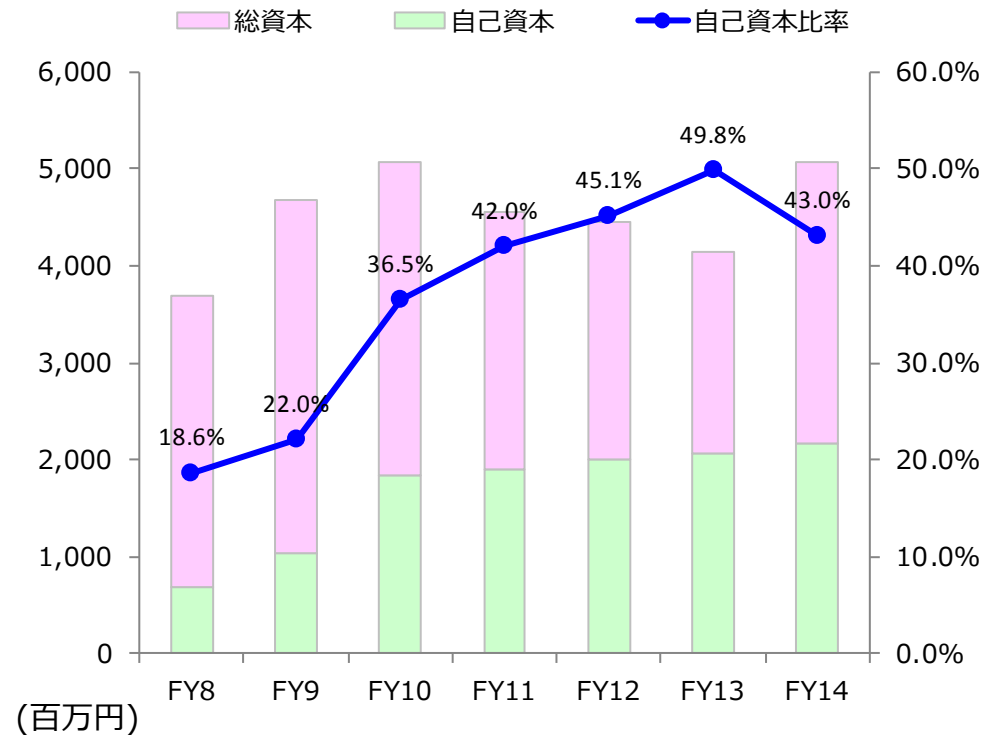
◆利益率



◆ ROE



◆ 自己資本比率



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※ その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社
<http://www.oricon.jp/>